

まちづくりって何やるの？(他都市での取り組み①静岡県掛川市)

まちづくりと一言で言うが、実際に何をやるのか、何が出来るのか、疑問の方も大勢いらっしゃると思います。

このコーナーでは、他都市における取り組みの事例を紹介いたします。

第1回目は、静岡県掛川市を取り上げてみました。

掛川市は、本市と同じく、城を中心とした城下町であり、駅と城を結ぶ地区を中心として、「平成の城下町づくり」を目標とし、城下町風の街並みの形成を目指しています。

地区のメインロードは、22 mの道路幅員と5 mのゆったりとした歩行者空間を持ち、舗装には石・ブロックを用い、植栽・ストリートファニチャ・照明灯のデザインは、歴史性や日本的情緒を表現しています。

沿道の個別建築物は、1 mのセットバックと、用途、階数の規制の他、外壁や屋根を歴史的建物の意匠を取り入れた色彩、素材、デザインで統一することとし、外観に関わる工事費には補助金を交付している。

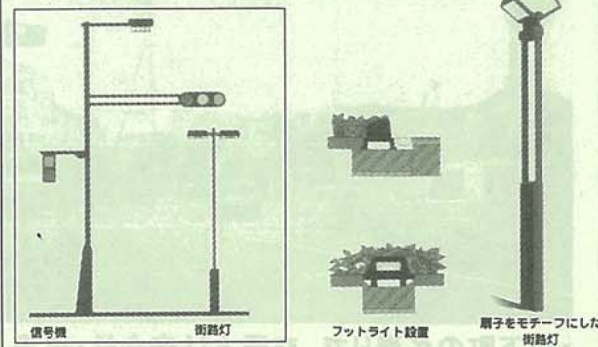
①メインロードの整備イメージ



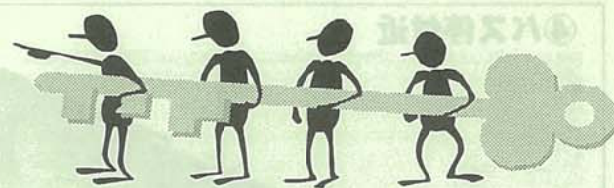
・駅から城へ向かうメインロード、幅員22 mの広がりのある空間と歩道、統一的な街路と沿道のデザイン。

地区のまちづくりは、行政と住民が一致協力して行い、シンボルロード・駐車場整備等の基盤整備と沿道の景観誘導を軸としています。

②信号機、街路灯のデザイン



・街路灯は、扇子をモチーフとしたデザインでフットライトと組み合わせ、信号機はシンプルなデザインで、色彩はこげ茶に統一。



□編集後記□

この“まちづくり便り”は、まだ産声を上げたばかりですが、行政と皆様方の架け橋として、委員会や市の検討経緯の報告にとどまらず、地区の情報交換の場や、まちづくりの情報誌として地区に根付き、一人歩きするよう成長することを願っております。皆様からのご意見・ご提言は、松江市都市計画課TEL(0852)-55-5373まで、お気軽にどうぞ。

まちづくり便り

～21世紀の営みを創る“まちづくり・みちづくり”～

March. 1997

No. 1

編集・発行
松江市役所
都市計画課
TEL(0852)-55-5373

『まちづくり便り』の創刊にあたって

初春の頃、皆様にはご健勝のことと存じます。

さて、皆様方には、ご存知の方も多いと思いますが、松江市では、市民の皆さまのより良い生活環境と、活気ある街づくりを目指して、裁判所前通りの拡幅整備について検討中です。

皆様にとって、より暮らしやすく、快適な生活を送れる街づくりを行うためには、実際に、日々の生活・商業等を営んでいる住民の皆様と、公共施設の整備等によってサービスを提供する行政とが、一体となって共に地区のあるべき姿を考え、街づくりを実行していくことが必要であります。

そのためには、従来以上に皆様と行政との、円滑な意志の疎通を図ることが重要であり、行政の情報公開、あるいは広く皆様方の意見をうかがう機会を設けることが、行政として求められております。

このため、今年度より、21世紀の将来に向け、皆様の街の発展と、より良い生活環境の創出に寄与する道路整備とするため、学識者・地区代表の方々と交えた「沿道環境計画調査検討委員会」を開催し、広く意見をうかがいます。

また、地区住民の方々への情報提供として、『まちづくり便り』を創刊し、地域の方々と、共にまちづくりに取り組んで行くものであります。



第1回「沿道環境計画調査検討委員会」開催される

去る1月10日、第1回沿道環境計画調査検討委員会(委員長 松江工業高等専門学校教授 原田恵介先生 他13名)が、地元代表の方や、市民女性代表の方らを交え、開催されました。

◇委員会での討論風景①◇



・第1回委員会は、市役所隣の婦人会館で開催されました。

第1回の検討内容は、沿道地区の現況・問題点、及び整備課題についてであり、活発な意見交換が行われました。



◇住民意向調査の結果◇

| 項目 | 割合 |
|-------------|--------|
| 歩道が狭く段差が多い | …93.0% |
| 道路が狭く災害時に不安 | …78.7% |
| 歩道が無く歩きにくい | …75.7% |
| 照明が暗い | …71.2% |
| 自動車交通の混雑 | …69.5% |
| 路上駐車が多い | …64.3% |
| 自動車の騒音や振動 | …59.2% |

・現況の問題点(主要なもの)

特に、前年度皆様のご協力を頂き実施いたしました、住民意向調査の結果、道路現況に対して、歩行環境の未整備や、災害時の安全性の問題が、大きく認識されていることが注目されました。

今後、沿道の人々と後背地の人々、商店主と生活者、高齢者と若年層といった、属性による意見の違い等、地区住民の方々の詳細な意向を把握することが重要であるという意見が出されました。

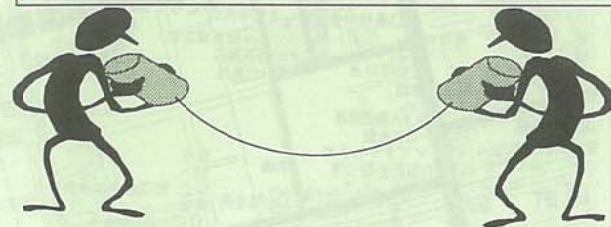


委員会は、今年度・来年度の2ヶ年にわたり、地区のまちづくり方針、地区整備方策、路線整備計画等を検討する予定で、“まちづくり便り”も検討の進行に合わせて発行する予定です。

◇委員会での討論風景②◇



・委員長の原田先生を司会進行とし、活発な意見交換が行われました。



私たちの街はこんな街(①沿道の風景)

①ふるさと館付近



・広い幅員で整備された区間、城山公園の緑が楽しめ、観光バスが通っても広々としている。

②朝夕の混雑



・狭い道路に自動車があふれ、歩行者・自転車のスペースが無い。

③クランク



・城下町の名残りで、交通上は安全性・円滑性に問題があるが、残すべきという意見もある？

まちづくりを進めるに当たっては、自分の住んでいる街を良く知ることから始まります。

普段何気なく歩いている街並みも、改めて注意してみると、いろいろな発見があるものです。

皆様も是非、一度散策しつつ注目してみたいかがでしょうか。

このコーナーは、今後も継続して掲載する予定ですが、第一回目の今回は、裁判所前通りの沿道風景を、特集しました。

④バス停付近



・バス待ちの空間が無いので、民家の軒先を借りてバスを待つ。

⑤裁判所前



・沿道に緑と広い空間があると景観が見違える。